

## 本と人、自然をつなげて巡る『みちの図書館』

豊かな自然とつながり、散策するように本との出会いを探す“みち”のような図書館を提案します。

**目田川広場**  
『目田川』と『くすのき通り』が連続する前庭

**木漏れ日広場**  
「図書エリア」と「活動エリア」を繋げ半屋外の交流広

**くすのきギャラリー**  
「くすのき通り」に面した独立運営可能なギャラリー  
「くすのきホール」や「木漏れ日広場」との連携も可能

**くすのきホール**  
『くすのき通り』に面した様々なイベントを受け入れる多目的ホール（ロールバックチェア対応可）

**くすのき広場**  
活動エリアと繋がる広場

**市民活動室**  
市民活動を促進する、まちに開かれた活動室（1室防音対応）

### 凡例 蔵書収納 / 席数内訳

|                            |                |
|----------------------------|----------------|
| ■ エントランスホール・共用部            | 1万冊 / 約13席     |
| ■ 地域資料・レファレンス              | 4万冊 / 約45席     |
| ■ 児童コーナー                   | 10.4万冊 / 約200席 |
| ■ 一般閲覧・新聞雑誌                | 0.6万冊 / 8席     |
| ■ ティーンズ                    | 2.2万冊          |
| ■ 閉架書庫                     | 約50席           |
| ■ 学習コーナー                   | 約25席           |
| ■ カフェ                      | 計3.8万冊 / 計300席 |
| ■ スタッフ室                    |                |
| ■ ギャラリー                    |                |
| ■ 多目的ホール                   | ロールバック最大約160席  |
| ■ 市民活動室                    |                |
| ■ 機械室・倉庫                   |                |
| ■ WC                       |                |
| ▲ メインエントランス                |                |
| ▲ スタッフエントランス               |                |
| ▲ セキュリティ（図書エリアにおいてはBDSゲート） |                |
| 🚲 駐輪場（各平置き20台）             |                |
| 🚗 駐車場出入口                   |                |
| 📖 ブックポスト                   |                |

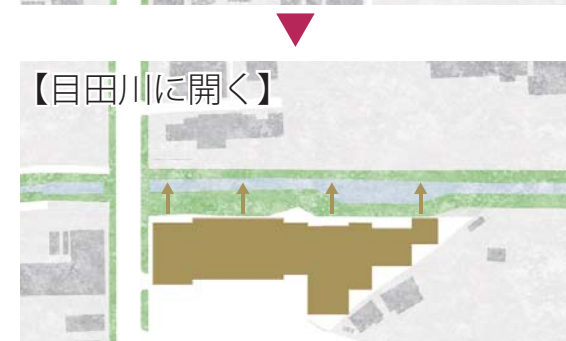
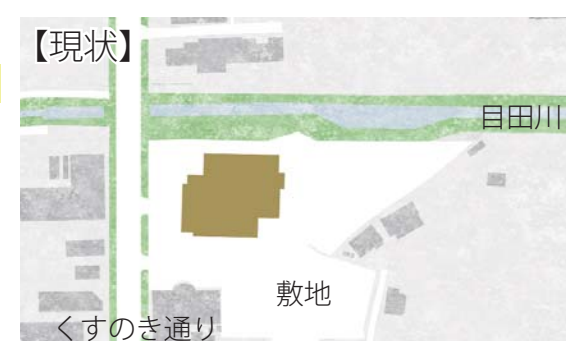
N 1階平面図 0 5 10 20

### □ つなげて開く“みち”の図書館

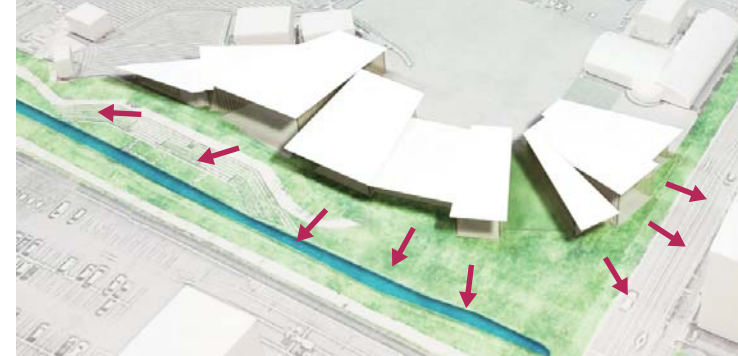
閉じられた箱の中の閉鎖的な図書館ではなく、人々を引き込みながら、**外に開かれた“みち”のような図書館**をつくります。『目田川』と『くすのき通り』と連続する“みち”の中を散策するように本や人との出会いを探し、人と自然、まちに対して開かれた学びと交流を生み出す図書館を目指します。



### □ 『目田川』と『くすのき通り』、“両方に開く”配置計画



『目田川』だけでなく、『目田川』と『くすのき通り』の両方に対して開きながら、ゆるやかに繋ぐような、リニアな配置とする事で、周囲の豊かな自然環境と図書館との接点を最大限確保することが可能となります。“みちの図書館”は“周囲に閉ざされた図書館でなく、最大限開いた明るい図書館”をすることを目指します。



『目田川』と『くすのき通り』をつなぐ“みちの図書館”

**目田川カフェ**  
テラス付きのブックカフェ。  
図書館・散策路からのアクセスが可能

**だんだんテラス**  
散策路と図書館をつなげるテラス

**地域資料・レファレンスコーナー**  
エントランスホールに面した  
地域の様々な情報を発信するコーナー

**園芸テラス**  
市民が育てる植物の庭

**キッズコーナー1**  
園芸テラスに面した読み聞かせコーナー（防音）  
子供用椅子20席＋親子机10席＋  
3-4段の本棚＋壁面の表紙見せの絵本棚

**成人病センター方面**

**森の読書テラス**  
木々に囲まれた読書テラス

**目田川テラス**  
対岸と図書館を繋げる目田川沿いのテラス

**一般閲覧コーナー・雑誌・新聞コーナー**  
目田川を眺める開放的でフレキシブルな閲覧エリア  
（3段程度の視線が抜ける本棚をゆるやかに配置します）

**学習コーナー**  
『目田川』沿いの木々や菜園テラスに面した静かな学習コーナー（50席）

**閉架図書コーナー**  
湿度管理を徹底した手動式周密閉架書庫  
（約22万冊収納可能）

**キッズコーナー2**  
南側に面した明るい児童図書コーナー（防音対応）  
（子供用机12台＋3段-4段程度の本棚を設置します。  
壁際は表紙見せで絵本を並べます。）

**ティーンズコーナー**  
入れ子状の空間に8席＋  
約6000冊分の本棚を設置

**一般閲覧コーナー**  
5段程度の本棚を  
分類ごとに整理して並べます

**散策路**

**菜園テラス**  
周囲の畑と繋がる、  
市民が育てる菜園テラス

**『目田川』に開く「図書エリア」**  
「活動エリア」から独立した運営が可能

**『くすのき通り』に開く「活動エリア」**  
「図書エリア」から独立した運営が可能

**ほほえみ広場：**  
「図書エリア」から独立した運営が可能

**ほほえみセンター**

**駐車場**  
南側に集約することで、図書館を  
『目田川』『くすのき通り』に開きます。

**出入口1**

**出入口2**

**2階平面図**

**2階平面図**

**2階平面図**

**2階平面図**

### □ 自然と街に調和した“小さな集合体”

“みちの図書館”は、積層された大きな図書館ではなく、**小さいボリュームが連続した施設**です。要求される用途や質に合わせて大きさを調整することで、室内環境を適切に整えとともに、バラつきがありつつまとまりを生み出し、**ヒューマンスケールの守山市の街並み**や、**『目田川』、『くすのき通り』**のような周辺の自然に調和する図書館を目指します。



自然や街に調和する小さなボリュームの集まり



『目田川』と『くすのき通り』の両方に開いて繋ぎ、自然と街に調和する図書館を目指します。



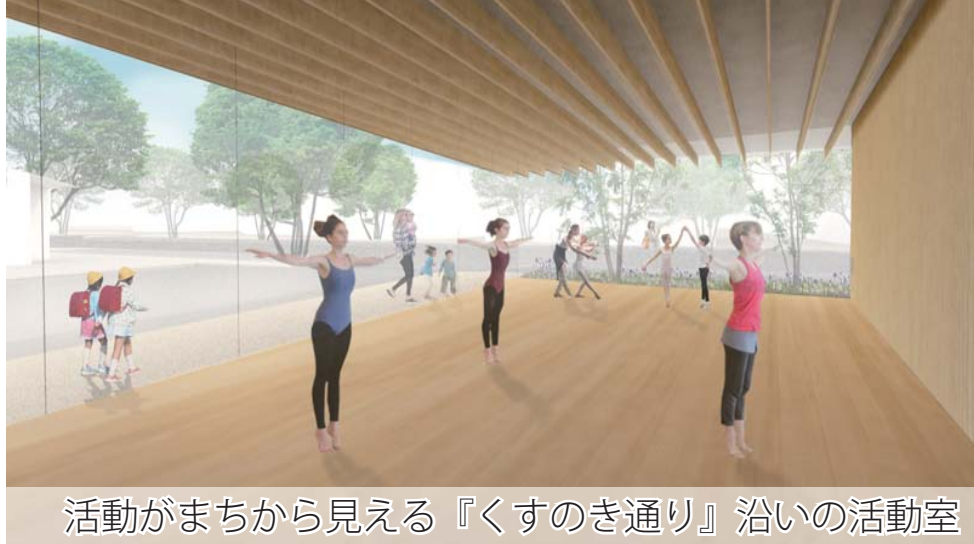
自然を感じられる開放的な“みちの図書館”は本と人との出会い、人と人の出会いの場となります。“みち”に沿って、壁面を利用した本棚や、独立した棚がゆるやかに並びます。



自然に囲まれた独立運営可能な明るいブックカフェ



大らかな吹き抜けと周囲の自然を感じる開架図書エリア。1階は壁面棚と視線のめける緩やかな本棚によるゆったりとした閲覧スペースです。



活動がまちから見える『くすのき通り』沿いの活動室



「園芸テラス」に面した明るい読み聞かせコーナー



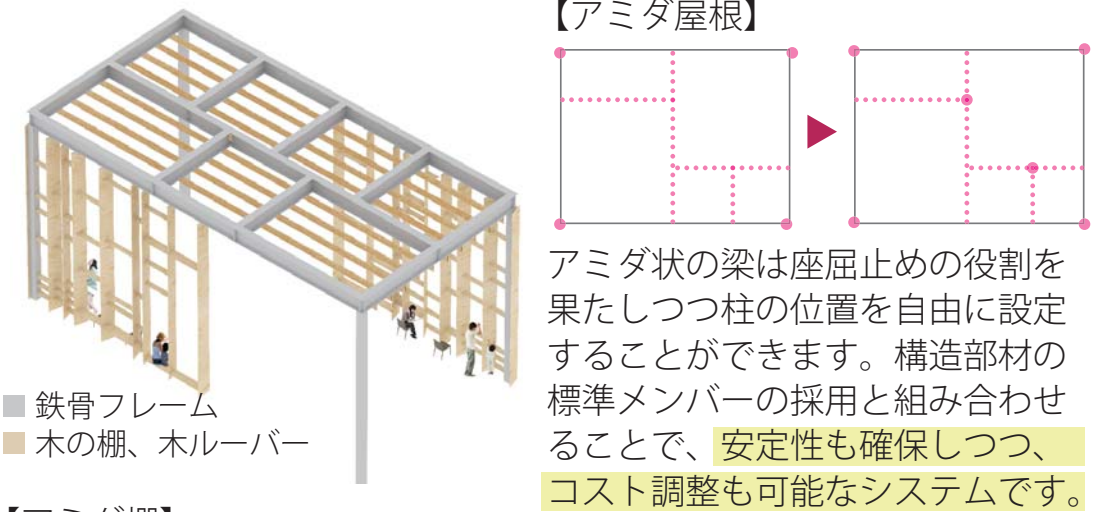
様々な活動を受け入れるフレキシブルで開放的な多目的ホールとギャラリー



市民の活動と学びを繋げ、市民の交流を促す“木漏れ日広場”

□ アミダ状の屋根と棚でつくる軽やかな木質空間

鉄骨ブレース付きラーメン構造と木の棚による混構造とします。棚と屋根をアミダ状の構造とし、木ルーバーを梁として使用することで剛性を高めながら鉄骨量を抑えます。また、木ルーバーは天井材ではないため、落下のおそれもなく、安全で軽やかな木質空間を実現します。



【アミダ棚】  
鉄骨構造を補うアミダ状の木の棚は本棚だけでなく展示棚やベンチやカウンター等の家具としても使うことが可能です。また、鉄骨フレームとも固定されているため、建物の強度を高めながら、大地震時にも転倒しない安全な本棚です。さらに万が一の浸水も想定し、最下段への図書の配置を避ける等の調整も可能です。



階数：地上1・2階

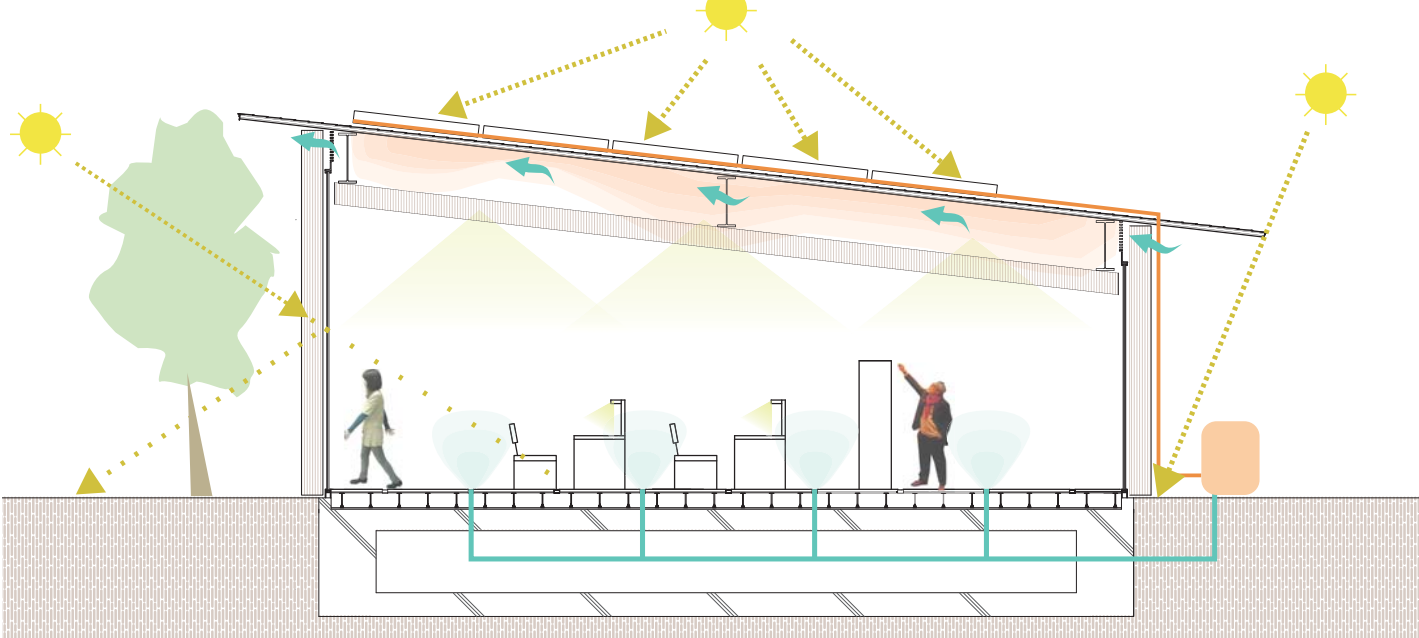
構造形式：鉄骨ブレースつきラーメン構造（+木造）

基礎：直接基礎（開架書架部分に杭を採用。部分的に地盤改良。）

\*万が一の浸水を考慮し地階を作らないことで、本を守ると共に掘削量と土工事のコスト低減も図ります。

□ 快適な環境を整える設備計画

- a. 自然エネルギー利用による湿度コントロール  
「太陽熱温水器」により温水をつくり、空調機の再熱に活用することで、書架エリアの湿度コントロールに利用します。
- b. LEDとタスクアンビエント照明の採用
- c. 居住域空調の採用によるランニングコストの低減  
天井の高い空間に効率的な室温コントロールが可能な「居住域空調」を導入します。
- d. 屋根の熱を逃がす二重屋根  
2階部分、天井が低い室の屋根は空気の流れをつくり、日射熱軽減を図ります。
- e. 南から太陽光を遮る庇  
南窓面には十分な庇を確保し、日射遮蔽に対応します。
- f. 木ルーバーと既存樹木  
既存樹木と木ルーバーにより、北と西面の日射遮蔽を図ります。



□ 地域の素材を活用した親しみのある図書館

「びわ湖村」をはじめとする地域の木材（杉・ひのき）や和紙や葦などの素材を積極的に活用することで、地域に貢献するとともに親しみと温もりのある図書館を実現します。



□ 見て体験して学ぶ“四季のライブラリー”

目田川や楠木通り、図書館の小さなテラスに、四季折々に花を咲かせる植物を植えます。四季の移ろいを感じられる環境をつくることで、植物や生き物の生態について学べる“四季のライブラリー”をつくります。



□ 外と中に点在する、交流を促す“小さなフォリー”

広場や図書館に小さなフォリーを点在させます。小さなフォリーは休憩スペースや、読書スペース、お話の場所となります。また素材や形など、地域の方々と考え、一緒につくることで、地域のみんなの施設である意識を共有するためのツールとしての役割も果たし、設計時から完成後の利用において市民の交流を促していきます。



□ だれもが利用できる安心・安全の図書館

バリアフリー、ユニバーサルデザインを取り入れることで安心できる図書館をめざします。地震時の対策として、各本棚の転倒防止、本の落下防止対策を徹底します。また、万が一の浸水への備えとし、本棚への本の設置高さの検討をします。

□ 地域の核となるネットワーク型図書館

従来の閉ざされた図書館ではなく、ブックモビリティやインターネットを積極的に活用し、地域の他の図書館や他の施設とも連携を図り、地域に開かれた図書館として地域活性化の核となる施設づくりを目指します。

□ みんなでつくる、みんなの図書館

部屋の配置は今後の要望等に対して容易に調整が可能な平面計画です。利用者や市と一つのチームとなり意見交換会や参加型のワークショップを必要に応じて開催し、様々な要望に応じて、市民の皆さんと、だれもが安心して利用できる、新しく、楽しい図書館づくりをめざします。



□ 徹底したコスト管理

予算内での実現のため、設計チームは積算チームと一体となって徹底したコスト管理を図ります。また鉄骨と木の補助部材による構造における、バランスを調整することで安全性を保ちながら予算内に可能な限りコスト削減を図ります。また、実施設計段階において予算をオーバーした場合、ただちに項目を見直し、適切にコスト削減に努めます。

□ 工事費概算

| *想定事業費 20.6 億 |      |           |      |
|---------------|------|-----------|------|
| 新築工事費（税込）     | 億    | 事業費総額（税込） | 億    |
| 建築工事          | 10.6 | 新築工事費     | 18.8 |
| 電気工事          | 1.6  | 解体工事費     | 0.9  |
| 空調設備工事        | 2.1  | 業務委託料     | 0.8  |
| 給排水衛生設備工事     | 0.5  | 合計        | 20.5 |
| 昇降機設備工事       | 0.2  |           |      |
| 外構工事          | 0.6  | 事業費外（税込）  | 億    |
| 閉架書架工事        | 0.2  | 橋・テラス+植栽  | 0.36 |
| 諸経費           | 3.0  | 諸経費       | 0.07 |
| 合計            | 18.8 | 合計        | 0.43 |

